

京 都 大 学

教 育 学 部 紀 要

XXXI

- 子ども文化論序説——遊びの文化論的研究——
- 発達における階層間の移行について
- Ⅲ 次元可逆操作の階層から変換可逆操作の階層へ
- 傾き知覚におけるカテゴリー的要因——“Class 2” oblique 効果を中心として——
- 大正期の社会教育と学校
- H. ノールにおける「教育関係」の概念とその今日的意義
- 戦前アナキズム運動の農村運動論——その1 自連派——
- 「発達月齢6カ月未満」にあたる重症心身障害児I型の発達の特徴
- 中等教育における教育課程編成原理についての一考察
- デューイと進歩主義教育協会の提案の検討——
- 自然概念の獲得過程
- リハーサル研究の展望
- Self-esteem と両親像——1. 女子と母親の受容性を軸として——
- 転移について
- 心の中にある昔画像——心の方向性——
- 催眠状態におけるイメージの自律性について
- 境界例に関する一試論
- 学校における性役割研究と解釈的アプローチ
- <状況的ジレンマ>と教師の適応モデル
- ナチス・ドイツの労働奉仕制度

京都大学教育学部紀要 XXXI

目 次

論 文：

子ども文化論序説……………	藤 本 浩之輔	1
——遊びの文化論的研究——		
発達における階層間の移行について……………	田 中 昌 人	32
Ⅲ 次元可逆操作の階層から変換可逆操作の階層へ		
傾き知覚におけるカテゴリー的要因……………	仲 谷 兼 人	60
——“Class 2” oblique 効果を中心として——		
大正期の社会教育と学校……………	大 庭 宣 尊	69
H. ノールにおける「教育関係」の概念とその今日的意義…	毛 利 猛	84
戦前アナキズム運動の農村運動論……………	三 原 容 子	95
——その1 自連派——		
「発達月齢6カ月未満」にあたる重症心身障害児I型の 発達的特徴……………	稲 富 眞 彦	107
中等教育における教育課程編成原理についての—考察—	水 谷 勇	123
——デュエイと進歩主義教育協会の提案の検討——		
自然概念の獲得過程……………	菅 眞佐子	134
リハーサル研究の展望……………	高 橋 雅 延	147
Self-esteem と両親像……………	石 川 嘉津子	161
——1. 女子と母親の受容性を軸として——		
転移について……………	伊 藤 良 子	172
心の中にある昔話像……………	千 野 美和子	184
——心の方向性——		
催眠状態におけるイメージの自律性について……………	吉 村 順 子	195
境界例に関する一試論……………	皆 藤 章	206
学校における性役割研究と解釈的アプローチ……………	森 繁 男	218
<状況的ジレンマ>と教師の適応モデル……………	山 本 雄 二	229
ナチス・ドイツの労働奉仕制度……………	生 田 周 二	240

昭和 59 年度 修士論文

氏 名	論 文 題 目
大 島 剛	選択的注意と人格次元の関係について—事象関連電位を用いて—
杉 本 均	多文化教育 その文化的多元主義と教育的平等の理念 マレー半島を中心とした考察
野 中 佳 代	教材・教具の意味の検討—記号論的分析にもとづいて—
橋 本 伸 也	ロシア革命期における労働教育論の展開—ベ・ペ・ブロンスキーにおける労働学校論の基本的性格について—
吉 田 敦 彦	M. ブーバーによる対話的教育関係
脇 中 起 余 子	子どもにおける距離・時間・速度概念の発達に関する一考察
横 山 悦 生	1930年代初頭のソビエトにおける労働教育の内容編成原理についての—考察
土 屋 信 子	ブーバーの教育観と人間観—その原現実性との関連において—
杉 岡 津 岐 子	昔話の心理学的研究—年齢的变化を中心としたグリム童話と日本昔話の記憶再生法による研究—
高 石 浩 一	いじめられっ子の対人パターン
田 中 和 子	対人関係にみられる文化的特性
宮 脇 恭 子	自我発達における小学校中学年の位置づけ—自我体験度尺度および風景構成法を通して—
山 祐 嗣	三名辞系列問題における方略の分析
山 村 滋	現代イギリスの16歳試験制度改革の展開—総合制中等教育の実現における試験制度一元化の意味—
吉 川 眞 理	Dysorexia nervosa 患者の母子関係に関する研究—母子相互ハンドテストを用いて—
佐 藤 毅 彦	図書館に関する意識調査
藤 本 敦 夫	現代イギリスにおける「第三段教育 (tertiary education)」再編政策の意義と問題点—後期中等教育拡充の展望—

昭和 59 年度 卒業論文

氏 名	論 文 題 目
阿 部 義 之	ソビエトにおける数学教育の「現代化」—その動向—
荒 木 幸 浩	教育者に関する考察—M・J・ランゲフェルド著「教育者の人間学と心理学」をもとに—
伊 藤 博 之	木下竹次の「学習法」における「独自学習」と「相互学習」について
鶉 野 祐 介	トルストイ民話集の教育学的考察
奥 村 和 弘	昭和二〇年代における高校生徒会活動に関する一考察
尾 古 雅 章	E. シュブランガーの公民教育思想における基本問題について—特に国家意識について
小 林 史 彦	谷本富の中等教育論
西 村 拓 生	H. Read の藝術教育論—「自由」と「秩序」との調和を求めて—
山 本 孝 子	障害児教育における「労働教育」の意義
仲 村 陸	精神薄弱児の後期中等教育段階における進路指導に関する一考察—昭和50年代における京都府下の養護学校高等部の実態を中心に—
池 野 真 朗	日本の大学入試制度
森 裕 之	柳田国男の教育思想
吉 田 由 佳 子	対人関係と理解の構造
上 田 佳 男	学級集団づくりの方法論的検討—「入門第二版」を中心にして—
池 田 圭 子	青年期における対人不安心性について—自己像と客観自己を用いて—
角 田 豊	共感性についての研究—映像と質問紙を用いて—
岸 田 邦 子	飛ぶことの象徴的意味—夢とファンタジーを素材にして—
小 林 万 洋	個と場—対人不安意識と場依存性の関係からの青年期における対人恐怖の心性に関する考察—
澤 嶋 正	TAT反応における文脈効果についての研究
塩 川 有 美	対人恐怖の心性と対両親関係に関する一研究
砂 川 和 敏	漢字の認知過程について
関 俊 子	女子青年の性的同一性に関する研究—TATを用いて測定できる人格の諸側面を材料にして—
蓼 原 邦 子	創造性とパーソナリティ—工学部における比較研究
田 中 秀 幸	成功・失敗経験が内発的動機づけに与える影響及び原因帰属との関連について
谷 本 一 弘	ブーメラン現象に関する一考察—the shift from disagreement to antagonism—
丹 治 晋 也	ユーモアと攻撃性に関する一考察

常松 健一	青年期の自己確立についての考察
山田 信之	原因帰属と要求水準の関係についての実験的考察—B. Weiner の帰属理論を中心として—
吉末 素子	対人距離と自我機能パターンの関係について
寄田 猛	権威主義的パーソナリティとR—S次元—Ambiguity Tolerance との関連において—
亀田 満	順序概念の獲得について—空間的・動作的考察—
当麻 久男	動的家族画に関する研究—とくにC. A. S. との連関および父親像の考察—
吉村 直哉	DAF 効果と Ear Asymmetry について
李 敏子	自傷願望と他傷願望—青年を対象として—
廣田 喜久次	差別意識の社会心理—部落差別における偏見—
宮本 政明	自我とは何か
金沢 盛栄	囲碁熟達者の記憶特性について
青 まり子	教師の教育権の制度的保障としての職員会議に対する考察
小川 裕久	教師の懲戒権と子どもの人権保障（体罰概念の明確化に関する考察）
奥村 宏明	教育内容に対する国家的権力的介入の限界—学習指導要領を中心にして—
新堂 粧子	子どもの社会化における親の意味付与に関する考察—家庭内における昔話伝承の実態と母親の意識についての調査から—
高橋 健	就職とクラブ活動
中澤 時子	笑いとリアリティ
藤本 朝也	擬似環境論と情報環境論
松浦 裕二	テレビ・メディアに関する一考察
山室 人士	中央報徳会機関誌「斯民」にみられる図書館観と日本の図書館の独自性について
山本 貴祐	『現代における社会的連帯感の喪失（及びその他の諸問題）と職業労働との関係について』
若月 和人	「文化行政」による「地域づくり」の問題点
足立 彰	「マス・コミが子どもに与える役割と家庭教育の問題について」
大西 剛	性役割の意識構造
鏡味 正明	「現代社会におけるリアリティーについて」～知識社会学に基づいてノンフィクションの時代を考察～
河合 映江	学校の社会化機能に関する考察
木原 純一	オートバイの社会学
田中 康之	学校図書館と図書館の自由
野間 雄三	我々は何のために闘うのか—『ヤマト』・『ガンダム』・『マクロス』に見る青春
眞 嵩 健	乳児期における親—子の相互交渉と社会化について

編集委員	本山幸彦	田中昌人	齋藤久美子
	上杉孝實	高木英明	
編集員	大西正倫	築山崇	仲谷兼人
	菅野信夫	大庭宣尊	植田健男

昭和60年3月24日 印刷

昭和60年3月30日 発行

発行人 京都大学教育学部
代表者 太田自由

印刷所 明文舎印刷株式会社
京都市南区吉祥院池ノ内町10

発行所 京都大学教育学部
京都市左京区吉田本町

Kyoto University Research Studies in Education

XXXI

Contents

Toward a Theory of Child Culture	FUJIMOTO Kounosuke
On the Transition to the Upper Hierarchy in Human Development III From the Hierarchy of the Reversible Operation, "Dimensional Operation" to the "Transformation"	TANAKA Masato
Categorical Factors in Visual Tilt Perception	NAKATANI Kaneto
A Study on the Relationship between Adult Education and School in Taisho Period.	OHBA Nobutaka
Die Konzeption des „pädagogischen Bezug“ bei H. Nohl und ihre gegenwärtige Relevanz	MÖRI Takeshi
The Theory of Rural Movement in the Anarchist Movement before World War II —Part I on JIREN-HA	MIHARA Yoko
Developmental Traits of Severely Mentally and Physically Handicapped Children Type I Limited to "The Developmental Age under 6 Months"	INATOMI Masahiko
A Study on the Principles of Curriculum Construction in Secondary Education	MIZUTANI Isamu
On the Process of Natural Category Acquisition	SUGA Masako
Perspectives on Rehearsal Research	TAKAHASHI Masanobu
Self-Esteem and Parent-Child Relationships	ISHIKAWA Katsuko
On Transference	ITO Yoshiko
The Fairy Tales' Image in the Mind—The Direction of its Change.....	SENNO Miwako
Autonomy of Imagery in Hypnotic State.....	YOSHIMURA Junko
A Study on Borderline	KAITO Akira
The Interpretive Approach to Studies on Sex-Roles in Relation to Schooling	MORI Shigeo
"Situational Dilemma" and Adjustment Model of Teachers	YAMAMOTO Yuji
Arbeitsdienst (Labor Service) in Nazi Germany.....	IKUTA Shuji

The Faculty of Education, Kyoto University

March, 1985